

## H 1 1 大阪府大

I. 次の行列  $A$  について, 以下の問いに答えよ.

$$A = \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 \\ -7 & 2 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

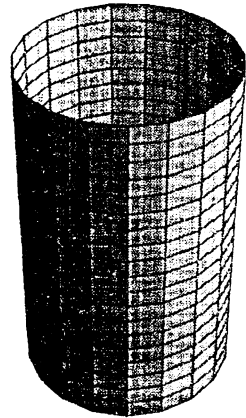
- (1)  $|\lambda I - A| = 0$  を解き,  $\lambda$  の値を求めよ. ここで,  $I$  は単位行列である.  
 (2) 上で求めた  $\lambda$  の 3 つの値を  $\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3$  ( $\lambda_1 \geq \lambda_2 \geq \lambda_3$ ) とする. このとき,

$$P^{-1}AP = \begin{pmatrix} \lambda_1 & 0 & 0 \\ 0 & \lambda_2 & 0 \\ 0 & 0 & \lambda_3 \end{pmatrix}$$

となるように, 行列  $P$  を定めよ.

II.

- (1) 図のような底面積  $S_0$  の底に小さな穴 (面積  $S_1$ ) 開いている高さ  $L$  の円筒形の水槽へ, 単位時間当たり一定量  $v$  の水が流れ込んでいる. まず, 水位  $x$  と時間  $t$  に関する微分方程式を作りなさい. 次に, 初期状態では水槽が空とし, 水位の時間経過と定常状態の水位  $x_0$  を求めよ. ただし, 小さな穴から流れ出る量は, 水圧とその穴の面積に比例 (比例定数:  $k$ ) するものとする.  
 (2) 前問において流れ込む水量が  $(L-x)$  に比例するとき (比例定数:  $a$ ), 水位の時間経過と定常状態の水位を求めよ.



III.

複素関数  $f(z)$ ,  $z = x + iy$  について次の問いに答えよ.

- (1)  $w = f(z) = z^2$  により,  $z$ -平面における直線群  $z = a + iy$ , ( $a = \text{実定数}$ ) は  $w$ -平面のどのような図形に写像されるか. 各平面の図も示せ.  
 (2)  $f(z) = (x^2 + axy + by^2) + i(cx^2 + dxy + y^2)$  が正則となるように実定数  $\{a, b, c, d\}$  を決定し,  $f(z)$  を  $z$  で与えよ.